

若山観音のあらまし

ご本尊は五寸三分（約16cm）の聖観世音菩薩（しょうくわんせおんぼさつ）。両脇には毘沙門天、不動明王、四国十八ヶ所のお大師さまが奉安されている。

周囲にはお地蔵さま、法華塔、造立者名を刻んだ石造の観音さま、お大師さまが並ぶ。

開創は大内弘世公（一三七九年と）。西の小京都を築いて民衆の幸せを祈ろうと、京洛文化の一つ西国霊場をこの地に勧請された。

はじめ若山の法蓮寺にあつたが、若山城の落城（一五五五年）等で荒廃。これを普春寺の三世が元禄八年（一六九五年）現在地に移築した。

開創以来六百数十年、万人の音を觀じ、お慈悲の眼をそそいでいらっしやる。

若山のふもと、篤い信心がもてなしの心となり、季節の花々となって大きく輪を広げていく。ここは若山観音の里である。

平成十六年十一月 ご開扉の年